

ご献体頂いた方のご遺族の皆様へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	肩関節前面部の変異、破格例における解剖学的研究 (B26-029)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部 整形外科学 講師 見目智紀
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	北里大学大学院 医療系研究科 講師 見目智紀
本研究の概要・背景・目的	肩関節前面部は烏口突起を中心に複数の筋・靱帯が集積する機能的に重要な領域であり、特に小胸筋は肩甲骨の前傾・内旋・下方回旋に作用し、肩関節運動に影響を及ぼす筋として知られています。小胸筋の短縮は肩甲骨前傾を助長し、肩甲帯機能異常や疼痛との関連が報告されています。 また、小胸筋は通常烏口突起に停止するとされていますが、延長腱や異常停止などの解剖学的変異が一定頻度で存在し、関節包や腱板などへの付着を介して肩関節障害に関与する可能性があります。しかし、これらの変異を臨床的に評価する方法は確立されておらず、特に超音波所見と実際の解剖学的構造との対応関係は明らかになっていません。 本研究は、肩関節前面部における小胸筋の解剖学的変異に着目し、体表超音波所見と解剖学的所見を同一検体で比較することで、その対応関係を明らかにすることを目的とします。
調査データ 該当期間	研究機関の長の許可日から 2031 年 3 月 31 日までの期間を対象とします。
対象となるご献体者	北里大学白菊会に登録し、死後に本学医学部解剖学単位に献体として提供された篤志献体会員のご献体の一部を用いて行います。本学白菊会を通じて提供頂き、Clinical Anatomy Lab にて管理・保存されているご献体(新鮮凍結屍体またはホルマリン固定屍体)、また北里大学医学部医学科の解剖実習において使用させて頂いているご献体(ホルマリン固定屍体)を研究対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	本研究は、献体を対象として体表超音波による所見と解剖学的な所見との関係を検討する観察研究であり、STROBE 声明 (Strengthening the Reporting of Observational Studies in Epidemiology) に準じて行います。献体に対して体表超音波による観察を行った後、解剖により小胸筋およびその解剖学的変異を直接確認し、両者の関係を検討します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ、電子的配信で提供します。 提供元機関の名称及び機関長の氏名 北里大学医学部・医学部長 小川元之
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等のご献体を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際もご献体を特定できる個人情報は利用しません。

本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学大学院医学系研究科一般研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：北里大学医学部整形外科学 講師 担 当 者：見目智紀（ケンモクトモノリ） 電 話：042-778-8881
備 考	